

廃校活用

(所属：企画振興課)

少子化により統廃合し閉校した小学校施設について、校区地域と連携協力し、学校施設の利活用の研究、実践、地域活性化に取り組みます。



廃校活用プランナー
(担当：旧山口小学校)

うめ の だい すけ
梅野 大介さん
(前住居地：大阪府)

大人が泣ける本を集めています

●志望動機

昨年訪れた福島県いわき市でのボランティアがきっかけとなり、地域活性化に携われるような仕事がしたいと思い志望しました。

●抱負・思い

旧山口小学校に人と活気が溢れ、南島原市が元気になるように、さまざまな企画を行っていきたいです。

●南島原市の好きな点

空気がきれい！移住前は大阪に住んでおり、1日でエアコンの室外機に排気ガスのススがつうすらと溜まる環境でした。空気が新鮮ということ、とても恵まれた環境だと思います。

●市民の皆さんへ

知らないことばかりなので、皆さんから色々な話をお聞きたいです。閉校利活用のことだけでなく、幅広く、映画や音楽のことも話してみたいです。

●閉校利活用についてはこちら

山口小学校閉校跡地利活用検討委員会
ホームページ

<http://minamishimabara-yamaguchisyo.jimdo.com/>



自宅では家庭菜園を楽しんでいます▶

みんなが集まる場所にしたい

●志望動機

少子高齢化による小中学校の統廃合という問題を、運営、プランニングすることで、南島原市を活性化させ、地域の発展に少しでも貢献したいと思い応募しました。

●抱負・思い

旧津波見小学校を中心に活動できる法人を起業したいです。

●南島原市の好きな点

釣れた魚を近所の人に配ったら野菜を頂きました。また、子どもたちが必ず挨拶してくれます。

●市民の皆さんへ

南島原市は外から来た人間から見ると魅力一杯です。“田舎＝不便”ではなく、“南島原＝魅力一杯”を発信するのをお手伝いしたいと思っています。今、世界遺産登録を前にジオパークガイド講習を受講しています。一緒に受講しませんか？



廃校活用プランナー
(担当：旧津波見小学校)

なか しま けん いち
中島 賢一さん
(前住居地：三重県)



七人の仕掛け人 南島原市の可能性

本市では今年度から地域おこし協力隊制度を活用し、7人の隊員を採用しました。採用したのは廃校活用、ブランド、マリノレジャーの3つの分野で、地域の魅力を再発見し、地域の資源を生かした取り組みを実践します。今月号では隊員の皆さんを紹介します。

地域おこし協力隊とは

地方自治体が都市住民を受け入れ、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など、「地域協力活動」に最長3年従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化に繋げる取り組みです。

特集

南島原市 地域おこし協力隊



『平成27年度 市政懇談会』
(7～9)



『南島原市アクアスロン大会』
イベント情報(13)



『特別巡回ラジオ体操』
南島原にゆーす(14～17)

CONTENTS

特集：南島原市地域おこし協力隊 七人の仕掛け人・南島原市の可能性	2～6
平成27年度 市政懇談会	7～9
まちの話題	10～12
イベント情報	13
南島原にゆーす	14～17
くらしの情報	18～21
島原半島世界ジオパーク	22
国際交流員コラム	23
南島原市図書館だより	24
健康コラム・消費生活センター	25
保健事業のご案内	26～27
市民カレンダー	28